



2022年12月期 第3四半期決算説明会資料

株式会社オプトラ

2022年11月11日



I

2022年12月期第3四半期実績

II

2022年12月期通期業績予想修正

III

トピックス



I

2022年12月期第3四半期実績

2022年12月期第3四半期累計実績のポイント

【受注高】

- 458億円(前年同期比100.2%増)、上場来過去最高
- ALD装置当社事業の中核へ成長
- 2022年2Qに続きスマートフォン向け好調
最上位機種カメラの高性能化(高解像・高精細)に貢献
- 自動車やLED等半導体光学融合技術向け好調

【売上高】

- 上海市ロックダウン解除後、生産挽回及び現地検収作業強化
- スマートフォンカメラ高性能化を支えるALD装置販売増加
- 新型装置及び従来型装置ともに好調に推移

【営業利益】

- 利益率の高い新型装置が寄与
- 販管費が想定より低水準に推移

【当期純利益】

- 円安により為替差益計上、出資金売却により特別利益計上

業績ハイライト



(単位:億円)

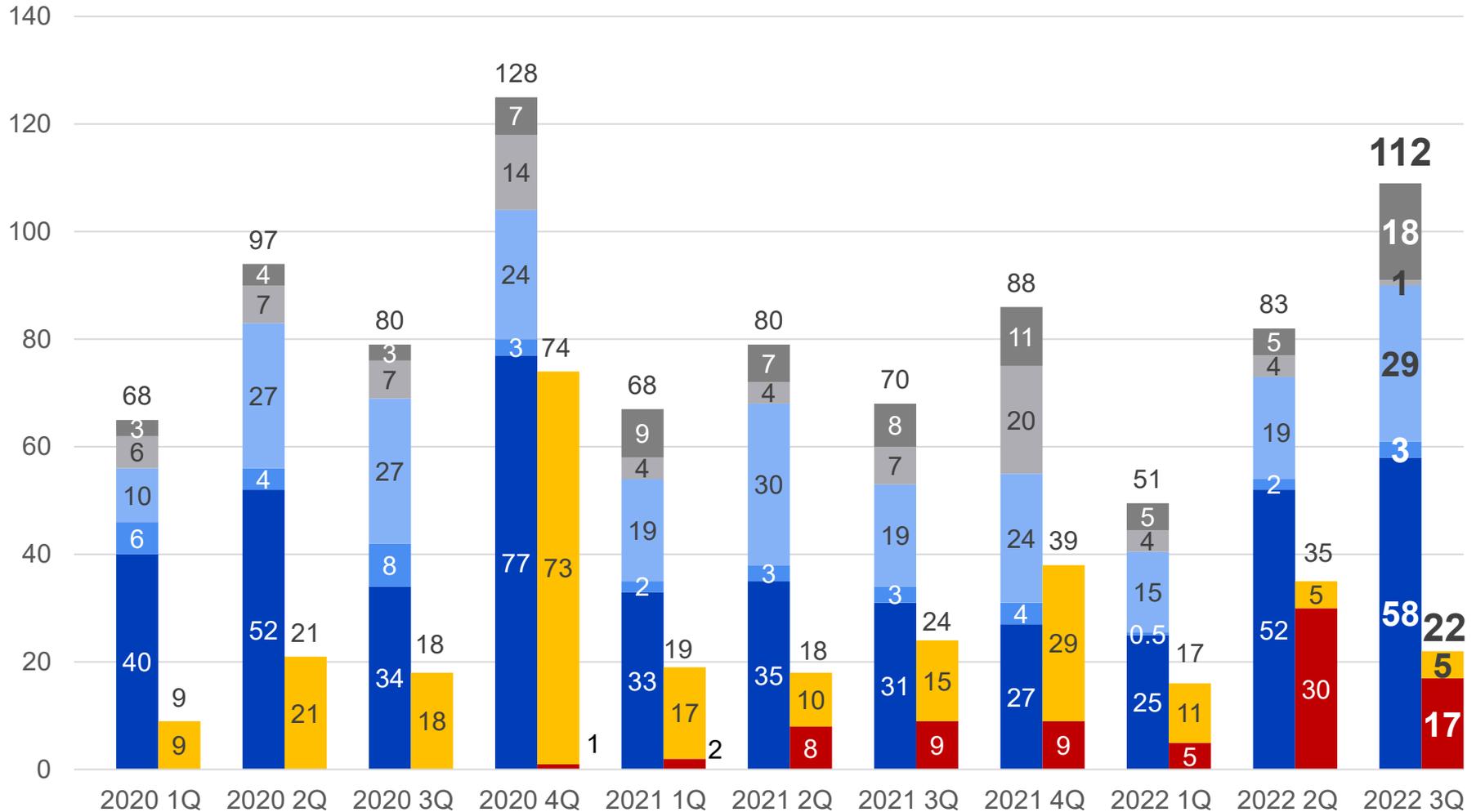
	2021年12月期 第3四半期累計実績	2022年12月期 第3四半期累計実績	前年同期比
売上高	220	247	12.7%
売上総利益	97	109	12.2%
	(44.3%)	(44.1%)	—
営業利益	48	62	29.5%
	(21.9%)	(25.2%)	—
経常利益	53	77	43.8%
	(24.5%)	(31.2%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	45	58	29.5%
	(20.6%)	(23.6%)	—
研究開発費	25	21	△16.0%
	(11.8%)	(8.8%)	—
設備投資額	8	51	523.5%
受注高	229	458	100.2%
受注残高	244	492	100.9%

(注) カッコ内%は売上高に占める割合

分野別売上高四半期推移

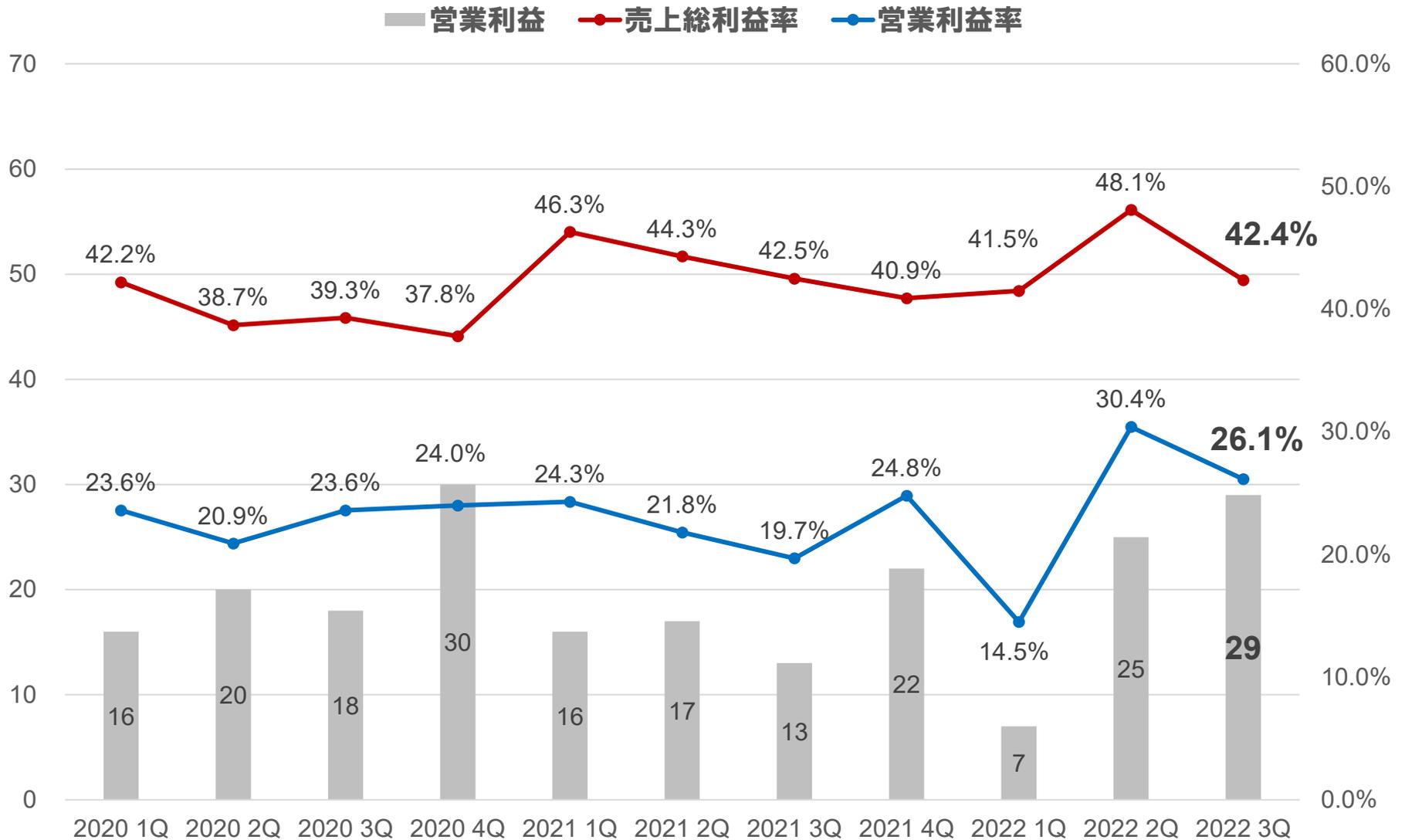
(単位:億円)

■スマートフォン ■カメラレンズ ■IoT ■LED ■その他 ■ALD ■新型装置 (ALD除く)



営業利益・売上総利益率・営業利益率四半期推移

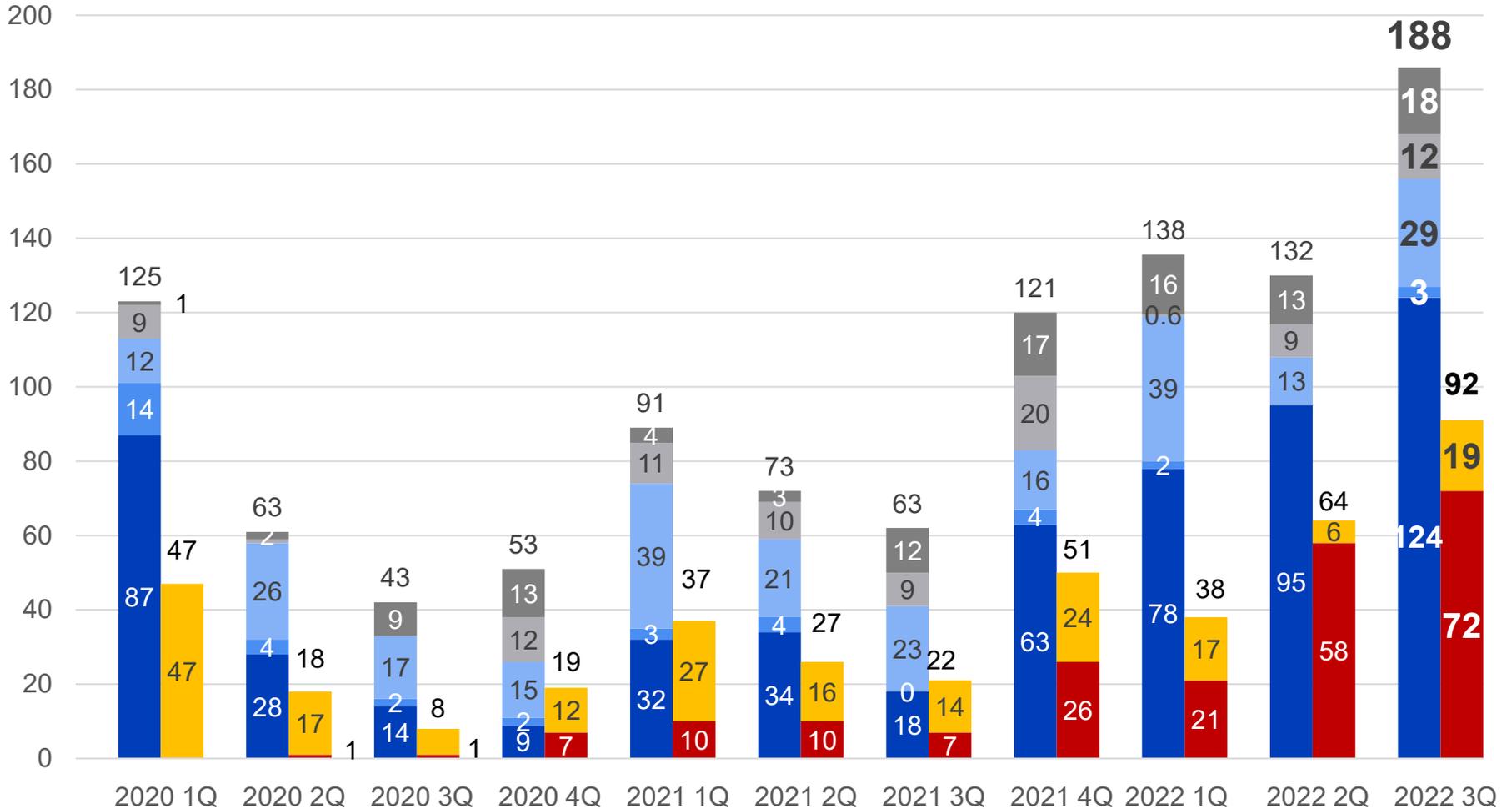
(単位:億円)



分野別受注高四半期推移

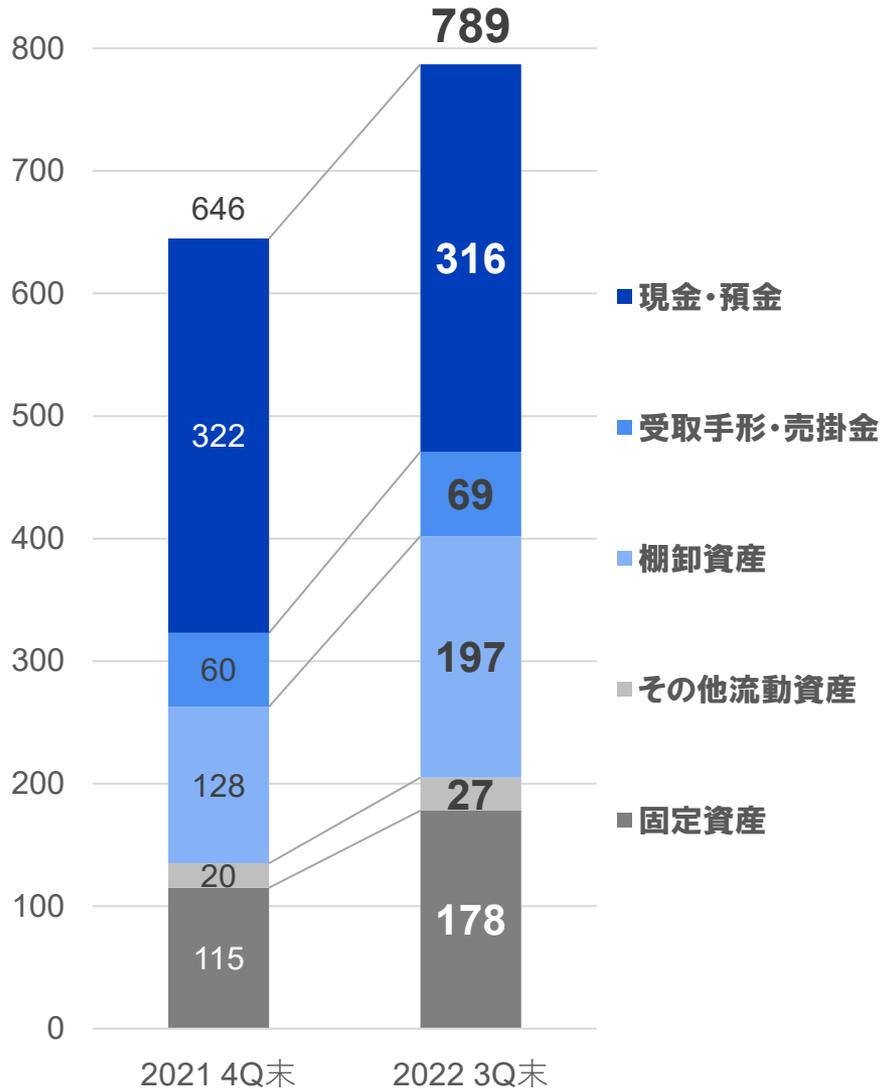
(単位:億円)

■スマートフォン ■カメラレンズ ■IoT ■LED ■その他 ■ALD ■新型装置 (ALD除く)



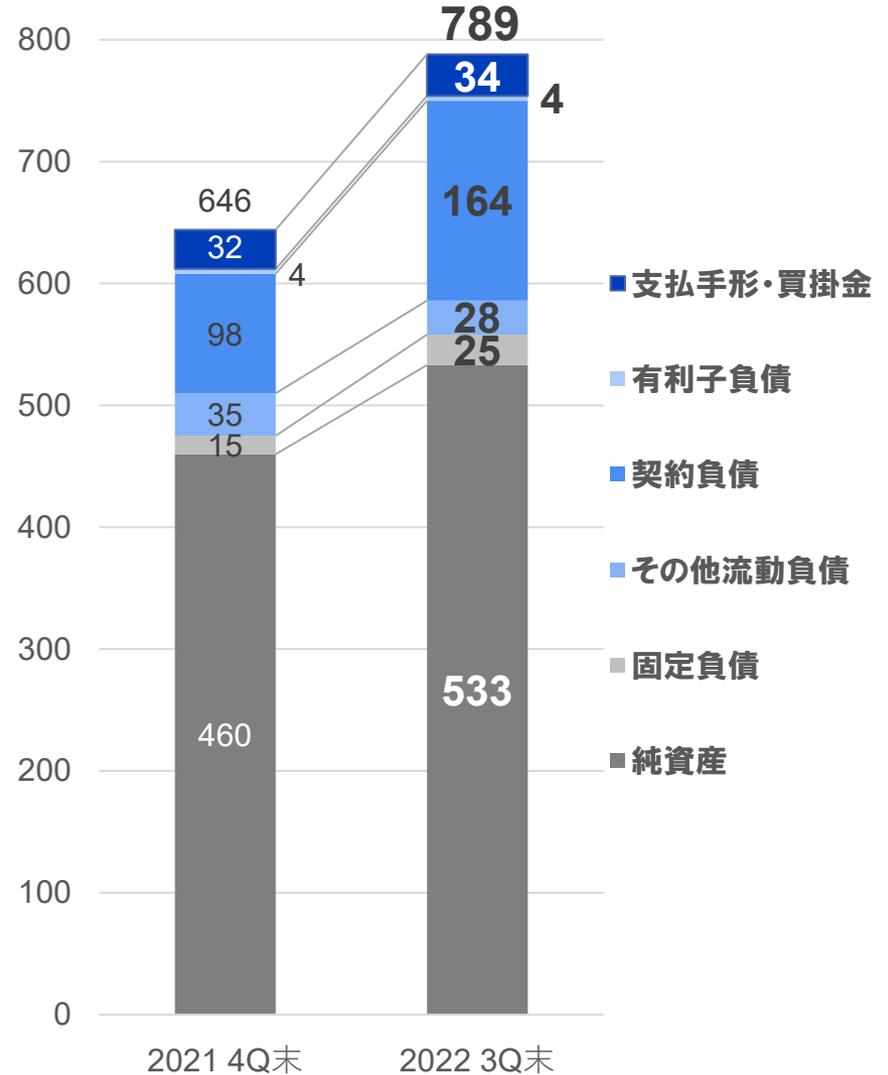
連結貸借対照表

資産



負債・純資産

(単位:億円)





II

2022年12月期通期業績予想修正

2022年12月期通期業績予想修正



(単位:億円)

	2022年12月期 前回発表予想	2022年12月期 今回発表予想	増減率
売上高	319	322	0.9%
営業利益	65	75	15.4%
(営業利益率)	(20.4%)	(23.3%)	—
経常利益	63	90	42.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	46	67	45.7%
配当予想(円)	42	50	—

【計画レート】

USD/JPY	110.00	138.00
CNY/JPY	18.20	20.50

通期業績予想前提

【事業環境】

- 世界経済先行き不透明、事業環境変化激しい
- スマートフォン最上位機種は引き続き堅調
- 車載、特に電気自動車関連市場の需要は強い

【売上高】

- 世界に先駆け、半導体光学融合微細成膜技術開発と顧客の高度成膜需要の取り込みを通じ、受注高・売上高増加、高性能スマートフォン向けALD装置好調
- 中国各都市の断続的なロックダウンの影響は予断を許さない状況

【営業利益】

- 新型装置売上は期初業績予想通りに推移

【当期純利益】

- 円安による為替差益や出資金売却益を反映

通期業績予想前提

【配当予想】

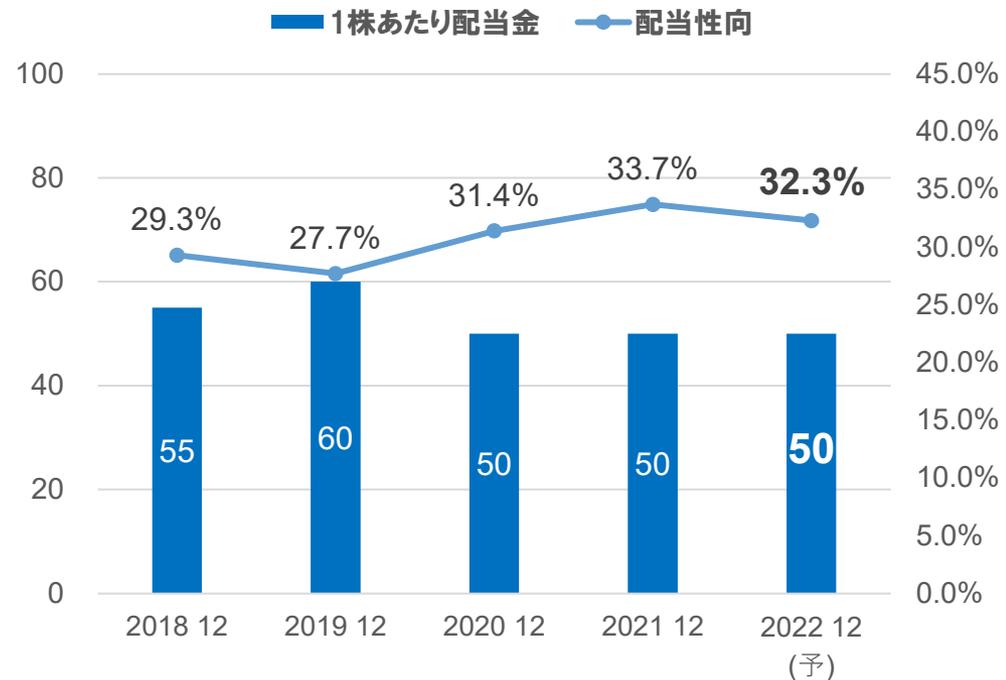
- 配当方針及び業績予想修正を踏まえ、株主還元のため増配

配当方針

研究開発投資、生産体制強化、新事業開拓等の必要な内部留保資金を確保しつつ、余力は株主還元を最大限実施します。

連結配当性向30%程度を目安に、安定的な配当を目指します。

(単位:円)





Ⅲ

トピックス

事業基盤拡充

1. ALD事業強化

ALD事業は当社中核事業に成長
今後もIoTや半導体光学融合等成長分野での用途拡大

生産機能・研究開発機能強化

(1) 光馳半導体技術(上海) 有限公司

- 工場建設着手
- 2023年後半稼働開始予定

(2) Afly solution oy (フィンランド)

- 研究開発施設新設
- 2023年春頃開所予定

<光馳半導体技術 工場完成イメージ図>



2. 日本研究開発機能強化 鶴ヶ島拠点新設

- 多様化する研究開発テーマに対応
- 一部高機能装置生産としても利用
- 2023年夏頃開所予定

<鶴ヶ島拠点（埼玉県鶴ヶ島市）>



3. ベトナム進出

- 中国リスク分散のため日本・台湾に加え、ベトナム進出を計画
- 2023年年初拠点開設予定

当資料に記載された内容は、2022年11月10日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【問合せ先】

E-mail: ir-info@optorun.co.jp TEL: 03-6635-9487